

ニュージーランドと日本の家のつくりの違いについて

倉敷市立新田中学校 3年 清迫 琉風

【調べようと思ったきっかけ】

住宅の街並みが、自然と調和しとても美しかったから

写真①住宅からも空が広く見渡せる

【ランギオラ地区】

住宅の画一性

ほとんどの家の外壁が白やブラウン

【住宅のつくり】

大自然に溶け込むようなデザインがされてある

ベージュやブラウン、グレー色が多く、最近では木材を使った家が増えてきた。

【土地の広さ】

日本の全国平均では約20坪ニュージーランドでは約36坪

日本よりも約2倍違う！

【人口密度】

日本は336km²、ニュージーランドでは15.8km²

日本に比べると21倍も低い！

【気候】

・日本は世界的に見ると四季がはっきりしており、日較差（1日の最高気温と最低気温の差）年較差（1年の最暖月平均気温と最寒月平均気温の差）が大きい。また、降水量が多いこと、梅雨やの影響で降水量の年変化が大きいこと。

・ニュージーランドでは、南半球に属しているため、日本との四季が逆であり、北部の地帯が暖かく、夏には亜熱帯性（日本の沖縄に近い気候）になります。

南部では冬は寒く、高地ではマイナス10度に達することもあります。年間の気温差は日本ほどではありませんが、1日の中での気温差は大きく1日の中に四季があるとも言われています。

【まとめ】

ニュージーランドと日本では、自然、住宅、農業など、違いはたくさんあると思いますが、実際に現地入りし、最初に疑問に思ったのは、住宅の画一性です。ホストファミリーの家はランギオラ地区にあり、その周りの家を見渡しても外観や造りがほとんど同じで、統一されていました。しかし、それがなぜなのか疑問に思い調べることにしました。

まず、日本の一般的な住宅とニュージーランドの住宅の写真を比較しました。ニュージーランドの住宅は平屋で、日本の住宅では2階建てが殆どです。また、家を建てる土地の広さも違います。

インターネットで調べたところ、日本よりもニュージーランドの人口密度が低いことが主な理由ではないかと考えました。そこで、日本とニュージーランドのデータを比較すると、人口や人口密度が、大きく異なることが分かります。このことから、日本は、できるだけ土地を使わないように2階建てのつくりにしていますが、ニュージーランドでは日本よりも土地が安く、より多くの土地を使うことができ平屋に住めることが分かります。

また、画一性については、ニュージーランドは自然に溶け込むように作られているため、白やベージュの色を使っていると知りました。

【まとめと感想】

この研修に参加して思ったことは、日本を離れて他の国のことを現地で知ること、本当に楽しいということです。これからもいろいろな国を訪れて、そこから学び、いろいろな人と関係を築いていきたいと思いました。